

## 目次

統合レポート発行にあたって 1

クリタグループ at a glance 2

価値創造のあゆみ 2

クリタグループの理念体系 4

クリタグループのビジネスフィールドと強み 5

価値創造ストーリー 6

パフォーマンス 8

クリタグループの戦略 10

社長インタビュー 10

財務戦略 15

中期経営計画

「MVP-22 (Maximize Value Proposition 2022)」

16

CSRの取り組み 18

クリタグループのビジネス 22

ビジネスフローにおける機会とリスク 22

研究開発と知的財産 24

事業セグメント別概況：水処理薬品事業 26

事業セグメント別概況：水処理装置事業 28

経営活動を支える基盤 30

取締役、監査役および執行役員 30

コーポレートガバナンス 32

ガバナンス鼎談：社外取締役 40

リスクマネジメント 42

人材マネジメント 44

コンプライアンス 47

環境改善活動 48

品質への取り組み 52

安全への取り組み 53

社会貢献活動 54

財務情報 55

企業情報 63

### 免責事項

本レポートは、栗田工業株式会社および連結子会社の計画・見通し・戦略・業績などの将来見通しを含んでいます。この見通しは現在、入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

※ 本レポート内で使用している商標(製品、サービス、ロゴ)は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。



常に新たな価値を  
社会と産業の



創造し、  
発展に貢献します

### 統合レポート発行にあたって

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中に大きなショックを与えました。パンデミックが生み出したさまざまな制約と混乱を乗り越えようとする中で、後戻りしない社会の変化を感じています。その一方で、大きな変化に適応しながらも、変わらない価値観も明らかになっていくものと思われま

クリタグループは、2018年4月にスタートした中期経営計画の基本方針の中に、「既成概念を壊す」という文言を盛り込んでいます。これは、当社グループが将来も永続できるような確固たる収益基盤を構築するためには、これまでの成功体験に執着することがリスクとなると考えたからです。その後、さま

ざまな施策を実施することを通じてビジネスプロセスとビジネスモデルの変容を目指してきましたが、常に立ち返るべき価値観があることも感じています。それは創業当初の水処理薬品による「価値」の提供に始まり今に続く、常に新たな価値を提供することで社会と産業の発展に貢献しようとする姿勢だと考えます。この姿勢は、企業理念の中にも表現されており、当社グループは日々この企業理念の実現に取り組んでいます。

このような当社グループの価値観をステークホルダーの皆様にお伝えし、グループ内外における議論の出発点とすべく、昨年グループとして初めて統合レポートを発行し、本年は2回

目の発行となります。現在はまだ統合型経営を模索している段階ではありますが、そのような当社グループの姿をお伝えすることが、皆様との建設的な対話の契機となれば幸いです。

2020年7月

代表取締役社長

門田道也